

第 71 回国民体育大会（希望郷いわて国体） トライアスロン正式競技 東京都代表選考基準

[1] 出場資格と選手数

以下の2つの条件を満たす男女各2名。

- 1) 18歳以上(2016年4月1日現在)の2016年度JTU登録会員又はJTU学生連合登録会員。
(ふるさと制度を利用する者は東京都登録以外でも可能)
- 2) 東京都連合所属選手として公益財団法人日本体育協会国体参加資格基準を満たす者。

<http://www.japan-sports.or.jp/tabid/191/Default.aspx>

[2] 選考基準

- 1) 6月19日(日)開催の「第27回 東京都トライアスロン選手権大会」において、上記出場資格を有する男女各上位2名の選手を、10月2日(日)開催予定の岩手国体トライアスロン正式競技東京都代表選手とする。補欠の選手も男女各1名選出する。
- 2) 上記対象選手が対辞退した場合、ロールダウンを行う。(対象トップの選手のタイム10%以内まで。)
- 3) 上記を満たした選手がすべて辞退した等の場合は、(社)東京都トライアスロン連合強化委員会で選考する。

※リオ五輪選出選手は予選会を免除し、国体代表選手の権利を与える。

日本体育協会「国民体育大会予選会免除に関する要領」による。

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/kokutai/pdf/kitei64.pdf>

※東京都トライアスロン選手権大会が中止の場合、エントリーしている選手の中から以下の優先順位で選出する。

- 1) 7月10日ITUトライアスロンアジアカップ(2016大阪)終了時でのNTTジャパンランキング
- 2) 2015年11月以降に行われた認定記録会の総合タイム

[3] 「ふるさと制度」利用の補足

現在他道府県に在学、在勤、在住の選手で東京都から『ふるさと制度』を利用して国体出場を希望する選手は、東京都選手権開催以前にその登録が必要となります。『ふるさと制度』利用希望の選手は6/5までに別紙【国体ふるさと選手制度登録用紙】に記入の上、東京都トライアスロン連合事務局へ送付してください。

なお、『ふるさと制度』の詳細については以下をご参照ください。

<http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid/188/Default.aspx>

[4] 選手強化費

1) 東京都選手権の選手強化費

6月19日(日)開催の「第27回 東京都トライアスロン選手権大会」において、東京都登録(学連、東京都ふるさと登録含む)の男女1位~3位の選手には、選手強化費を支給する。

2) いわて国体の選手強化費

10月2日(日)開催予定の「希望郷いわて国体トライアスロン正式競技」において、優秀な成績(8位以内入賞)を修めた東京都代表選手には選手強化費を支給する。

以上